

交差点事故をなくそう 歩行者・自転車 再確認

◇熱中症予防◇

- 疲れを感じる前に、早目の休憩で過労防止
- 熱中症予防のため、「水分」と適度な「塩分」補給

◇子どもたちは、夏休み◇

- 住宅街、スピードダウン
- 交差点、安全確認

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

交差点 右折のタンクローリーと 直進の乗用車が衝突

乗用車の助手席の男性が意識不明の重体
乗用車運転の男性がケガ

- ◇交差点の右折は・・・十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意しましょう◇
- ◇交差点 直進時は・・・右折車が「来るかもしれない」・・・注意しましょう◇

2024/7/29(月)

29日午後1時50分ごろ、香川県の交差点で、右折しようとした運転手（40）の男性が運転するタンクローリーが、直進していた男性（46）が運転する乗用車と衝突しました。この事故で、乗用車の助手席に乗っていた、会社員の男性（50）が意識不明の重体、乗用車を運転していた男性が外傷性くも膜下出血などのけがをしました。

ごみ出し中の小学1年生の男の子(6)

国道を歩いて横断中

路線バスにはねられ搬送 頭と腕を打撲

◇道路わきの自転車や歩行者とは、大きく間隔を空けましょう◇

◇出てくるかも・・・しれない◇

◇渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない・・・注意しましょう◇

2024/7/30(火)

30日午前8時頃、熊本県でバスの乗客から「バスと人の交通事故で2メートルほど人が飛ばされた」と消防に通報がありました。警察によりますと、近くに住む小学1年の6歳の男の子が国道を歩いて横断していたところ、走ってきた路線バスにはねられたということです。男の子は、頭と腕を打撲するなどして病院に搬送されましたが、意識はあるということです。バスには乗客・乗員14人が乗っていたとみられ、けが人はいませんでした。警察によりますと、男の子はごみ出しのため、1人で外出していたとみられています。警察は、路線バスの男性運転手（24）を過失運転致傷の疑いで捜査するとともに、事故の原因を調べています。

信号機のある丁字路交差点

赤色灯をつけてサイレンを鳴らし緊急走行中のパトカーが

赤信号の交差点を右折しようとしたら

直進する乗用車が衝突

乗用車の男性は、首の痛み

- ◇ラジオのボリュームは大きくありませんか？◇
- ◇緊急走行車両のサイレンが聞こえなかったのでは？◇
- ◇運転中の、携帯・スマホは厳禁です◇
- ◇緊急車両に気がつかず・・・事故の可能性◇

2024/7/30(火)

29日深夜12時頃、鹿児島県の国道で、右折しようとしたパトカーと、直進していた乗用車が衝突しました。乗用車を運転していた会社員男性（35）が首の痛みを訴えたが、命に別条はないという。パトカーを運転していた男性巡査長（24）と同乗の警察官にけがはなかった。警察によると、パトカーは緊急走行中で、赤色灯をつけてサイレンを鳴らしていました。現場は信号機のある丁字路交差点で、パトカー側の信号は赤だったとみられる。